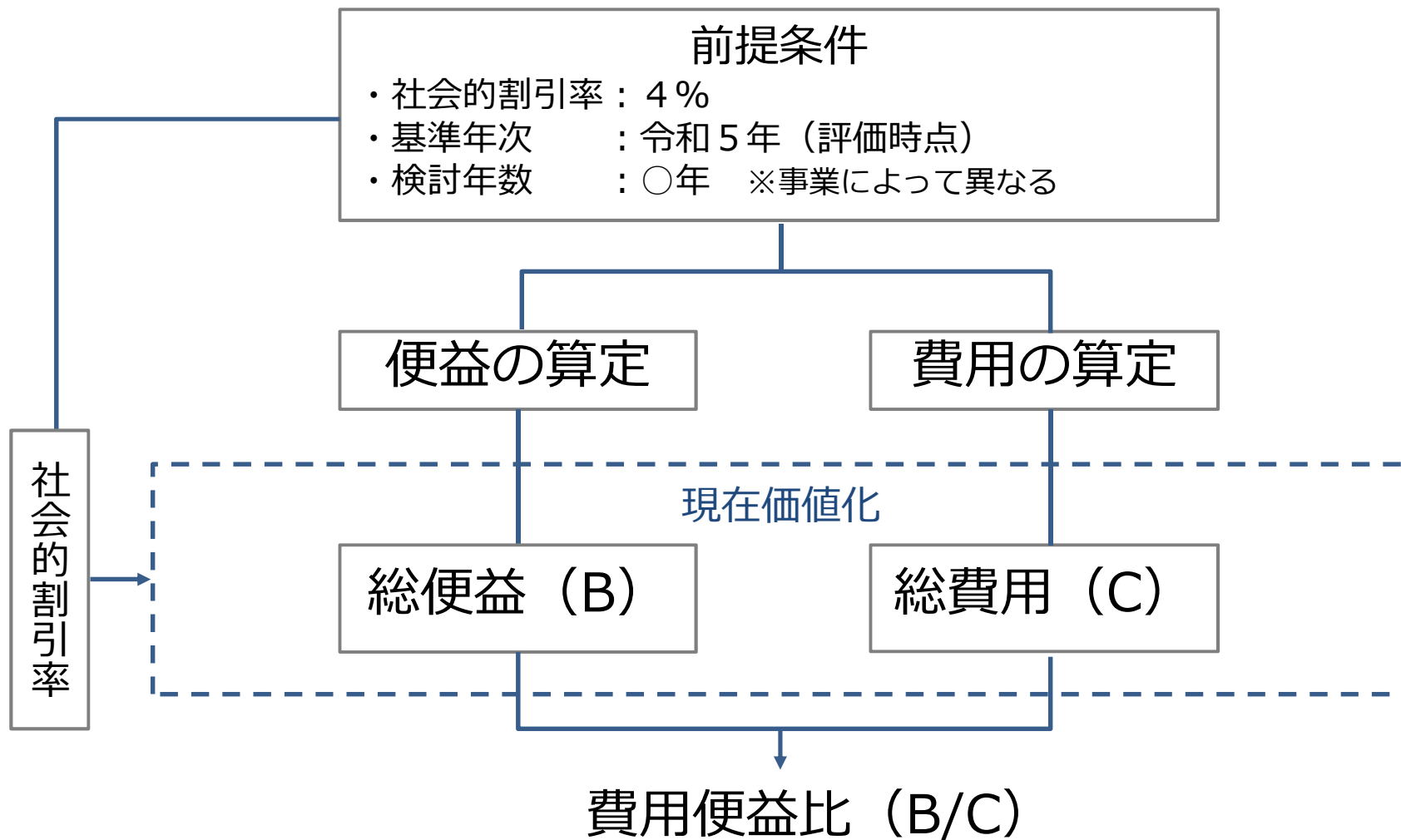


# 費用便益分析（考え方）

- 事業実施によって発現する効果のうち、貨幣換算可能なものを対象に便益として計上した上で、事業における建設投資額等の費用と比較し、社会的な視点から事業効率性を評価する。
- なお、将来発生すると見込まれる費用と便益は社会的割引率を用いて現在価値に換算して比較を行う。



# 費用便益分析（考え方）

## 社会的割引率とは

- 社会的割引率とは、時間軸上の価値を補正するもので、同じ財の現在と将来の交換比率である。
- すなわち、将来の費用(効果又は便益)と現在の費用(効果又は便益)は実質的な価値が異なり、現在の費用(効果又は便益)に比べ将来の費用(効果又は便益)の価値が低いものとする。その価値の低減度合いを示すものが社会的割引率である。

※出典：水道事業の費用対効果分析マニュアル本編一、平成19年7月、厚生労働省健康局水道課  
[https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/hourei/jimuren/dl/070730-2\\_0009.pdf](https://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/kenkou/suido/hourei/jimuren/dl/070730-2_0009.pdf)

費用便益比の算定における費用と便益の現在価値化のイメージ

